

～2024年度平和カンパをありがとうございます～ チエルノブイリ子ども基金

チエルノブイリ子ども基金は、1991年からチエルノブイリ事故被災地のウクライナとベラルーシの病気の子どもたちの支援を行っています。医薬品や医療機器の支援の他、毎年夏に放射能汚染地域に住む病気の子どもたちを安全な地域での保養に招待してきました。

ウクライナの子どもの保養は、ロシア軍によるウクライナ侵攻により2022年は実施を見送りましたが、翌2023年からは、戦争の影響の比較的少ない同国西部の山あいの施設で再開し、2024年も無事に実施することができました。ベラルーシの子どもの保養も例年通り実施することができました。

平和カンパは両国のチエルノブイリ事故被災地の病気の子どもたちの保養プロジェクトのために使わせていただきました。カンパを寄せていただきましたみなさまに心からお礼を申し上げます。これからもご支援をいただけますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

* * * * *

ウクライナ 子ども保養施設「リバー・キャンプ」
(イワノフランキウスク州ミクリチン村)

【実施期間】2024年6月27日～7月6日(10日間)

【参加者】子ども35人(8～17歳／ジトーミル州オヴルチ市、ナロジチ市と周辺の村より)、引率者3人

【参加者の病名】慢性気管支炎、慢性扁桃炎、心臓疾患、咽頭炎、慢性肺炎、側弯症

◆ダリーナ・D 10歳(オヴルチ市)

私はリバー・キャンプが大好きになりました。わくわくすることがたくさんあって楽しくて、新しい友だちがたくさんできました！私にとって世界で最高のキャンプです！ウクライナでは戦争が起きていて空襲警報が出ると必ず避難します。私の国に早く平和が訪れる事を願っています。

◆スタニスラフ・L 12歳(オヴルチ市)

戦争の恐怖から離れ心を休める機会をもらえたことに感謝します。僕たちのことを忘れないでくれてありがとうございます。いろいろなところに遠足に行ったり、川辺や山の中を歩いたりして本当に楽しかったです。そしてみなさんは僕にどんなにお金を出しても買えない貴重な贈り物をくれました。それは新しい友だちです。どうもありがとうございます。

◆ナザール・K 13歳(ナロジチ)

みなさんの優しさと行動は僕たちに力と、より良い未来への希望を教えてくれます。戦争は僕たちに多くの悲しみと喪失をもたらしました。町や村は破壊され、普通の生活が壊され、多くの人が家や親戚を失いました。そのような中でみなさんのおかげでこうして休養することができたこ

とに深く感謝します。この戦争の中でのみなさんのご支援は、僕たちが独りぼっちでないことを思いおこさせてくれます。力を合わせればあらゆる困難を克服できると信じています。僕たちは力を合わせればどんな困難も乗り越え、平和を取り戻すことができると信じています。

◆ユリヤ・T 15歳(ナロジチ)

私は戦争の最初の日のことを一生忘れません。その瞬間から私の時間は止まりました。爆発、飛行機の音、占領の危険、親しい人たちの死…。両親と離れ、しばらくの間別の場所に避難しなければならないこともあります。言うまでもなく、誰も、ましてや子どもがこれを経験すべきではありません。この保養に来たおかげで、日々起こっている戦争の恐怖から心を逸らすことができました。美しい自然に触れ、たくさんの新しい友人ができました。いろいろなところに遠足に行き、多くの新しいことを学びました。私たちのためにしてくださったすべてのことに対する感謝です。

* * * * *

ベラルーシ 子どもりハビリ・健康回復センター
「ナデジダ(希望)」(ミンスク州ビレイカ地区)

【実施期間】2024年8月2日～8月20日(19日間)

【参加者】子ども29人(9～17歳／ゴメリ州ゴメリ市、ゴメリ地区、レチツツア市、チェチェルスク市、ドーブルシ市、モーズィリ市)、引率者2人

【参加者の病名】筋線維芽細胞腫、出血性脈管炎、腎臓がん、精巣がん、卵巣がん、横紋筋肉腫、目の腫瘍、悪性リンパ腫、肝臓がん、後腹膜神経芽細胞腫、線維肉腫、骨肉腫、血小板減少性紫斑病

◆ボグダン・K 16歳(ゴメリ市)

日本のみなさんのおかげで、僕たちはきれいな空気と美しい自然に囲まれた素晴らしい設備のあるナデジダで保養をすることができました。僕たちはとても仲のよいグループでした。食堂の料理はとても美味しかったです。いろいろなクラブ活動の中で特に木工細工が楽しかったです。敷地内にあるハンモックでくつろぐのが大好きでした。ナデジダはいつも僕に忘れない出来の思い出を残してくれます。僕たちをナデジダで保養てくれたみなさん、本当にありがとうございます。

◆ソフィヤ・E 10歳(ゴメリ市)

ナデジダで保養ができたことはとても幸せでした。ナデジダのお医者さんの診断を受け、私はマッサージやアロマテラピーを受け、体操教室にも参加しました。それから折り紙、手芸のクラブ活動に参加しました。たくさんの友だちができて、みんなで楽しく過ごしました。私はナデジダが大好きになりました。